



山ろうだより

山形県立山形聾学校

R 7 第 1 4 号

令和 7 年 1 1 月 2 8 日

山聾創立98周年記念の取り組み

～みんなで98冊以上の本を読もう～

先週、22日（土）に「98冊以上になったよ」と読んだ本を書いたカードを貼っていた児童と先生から、校長先生に報告があったそうです。7月から始めて3月までの間に達成できればと考えていましたが、開始からわずか5カ月で、98冊となりました。

山形聾学校の幼児児童生徒一人ひとりが、本に親しんでいるのだなと実感しました。

また、ご家庭での声掛けや教室掲示の工夫なども意欲付けにつながったのではないかと思います。

11月24日現在、101冊です。



98冊目は、「おめんです 3」

あっとおどろくしかけえほん

偕成社著 いしかわこうじ 作・絵



授業参観・補聴機器学習会・展示会・舎保護者会

11月22日（土）に授業参観があり、たくさんの保護者の方々に授業を参観していただきました。また、同日に開催した補聴機器学習会では、県内外から8社の企業ブースで最新の補聴機器情報を得ることができました。また、昼食会を兼ねた舎保護者会では、普段保護者が見ることができない日頃の活動の様子を動画で紹介しました。

山形聾学校の日頃の教育活動について、少しでも知っていただく機会となればと思います。来校していただきました皆様ありがとうございました。



東京デフリンピック大会終了

11月15日（土）～26日（水）の期間にたくさんの選手の活躍がありました。実際に応援に行ってきたという話も聞こえてきます。海外の聴覚障がいの方など多くの選手が競技に取り組む姿から、聴覚障がいへの理解や関心が高まる機会となり、コミュニケーション手段として手話や文字アプリなどいろいろな方法についてメディアで取り上げられていました。



学校参観がありました

11月19日(水)に羽陽短期大学の学生さんが来校し、幼児児童生徒と交流しながら聴覚障がいについての学習と校内参観をしました。福祉を専攻している学生の皆さんは、工夫した自己紹介のカードを作って話をしていました。とてもわかりやすく親しみやすく、交流でもコミュニケーションを積極的にとろうとする姿がありました。学生も子ども達もお互いに楽しい時間を過ごすことができました。



避難訓練(地震)

11月14日(金)に地震により廊下が崩れたという想定で訓練を行い、非常階段を利用してグラウンドに移動するなどしました。

真剣な表情で避難訓練に取り組むことができました。



歯磨き教室(小学部)

11月20日(木)に歯科校医の原先生と歯科衛生士小椋さん、小学部の先生方の劇を通して歯磨きの大切さを学びました。虫歯にならないようにしっかり歯磨きしていきましょう!



12月3日(水)に校内授業研究会を実施します。

今年度も、職員の授業力向上のために校内で一人一授業研究に取り組んでいます。12月3日には、職員の研修として、前校長の庄司先生を迎え研究会を実施します。当日は、下校時間が早くなっておりますので、ご協力よろしくお願いします。

山形大学交流(高等部)

今年度も継続して山大的学生皆さんと交流活動をしています。山形聾学校での交流だけでなく実際に、山大キャンパスにも行つての交流活動もしています。聴覚障がいへの啓蒙や生徒自身の障がい理解につながっています。



新しいALTの先生がやってきました! これからよろしくお願いします!!

11月20日(水)にオーストラリア出身のサリンジャー・マヤ(Salinger Maya)先生が来校し、一緒に授業を行いました。英語の学習だけでなく中学部の音楽や幼稚部と一緒に活動を楽しみました。12月にも来校する予定です。ネイティブの発音を聞いたり、オーストラリアのことについて学んだりしています。



■編集後記■ 天気予報の「雪」マークが気になるこの頃です。県内でのクマの出没情報が少なくなってきたことについては、少し安心していますが、今後も十分に気を付けていきましょう。今は、インフルエンザが流行しているようです。次々と気を付けることがやってきましたが、まずは日々の生活リズムを整えて心身ともに健康に過ごしていくようにしたいものです。ご家庭でも安全や健康について、ぜひ話題にいただければと思います。

※「学校評価について」アンケート回答実施中です。アンケート結果については、2月の学校経営説明会にて報告していきます。引き続きよろしくお願いいたします。(文責 笹原)